

平成27年9月11日
株式会社 愛知銀行

公益財団法人 愛銀教育文化財団の助成金等交付対象先の決定について

公益財団法人 愛銀教育文化財団（理事長 小出眞市 愛知銀行会長）の平成27年度（第26回）の助成金等対象先が下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

記

1. 助成及び援助の対象

(1) 一般助成

愛知県内を基盤に、教育・文化活動の維持発展に努力し、地道に継続的、独創的な活動を行っている個人または団体。

(2) 高校生の文化および体育活動への援助

愛知県内の高等学校で愛知県高等学校文化連盟（高文連）並びに愛知県高等学校体育連盟（高体連）の会長推薦を受けている活動。

2. 一般助成先および高校生への援助先数と総額

25先 総額940万円

(1) 一般助成

応募受理件数	122件		
助成金交付先数	18先（個人 8名・団体 10団体）		
助成金額合計	640万円	個人合計	240万円 （各個人 30万円）
		団体合計	400万円 （各団体 40万円）

(2) 高校生に対する援助

連盟推薦件数	11件		
援助金交付先数	7先（連盟2先、5校）		
援助金額合計	300万円	文化連盟 2先 （文化連盟推薦）	100万円 （各25万円）
		高校 2校 （文化連盟推薦）	50万円 （各25万円）
		高校 3校 （体育連盟推薦）	150万円 （各50万円）

助成金等交付先については、別添「平成27年度（第26回）助成金等交付先」を参照

(3) 財団発足後の助成金等累計額と先数

2億3570万円(624先)

平成 2年度(第1回)	440万円	平成15年度(第14回)	940万円
平成 3年度(第2回)	790万円	平成16年度(第15回)	940万円
平成 4年度(第3回)	790万円	平成17年度(第16回)	940万円
平成 5年度(第4回)	800万円	平成18年度(第17回)	940万円
平成 6年度(第5回)	790万円	平成19年度(第18回)	1080万円
平成 7年度(第6回)	940万円	平成20年度(第19回)	1080万円
平成 8年度(第7回)	910万円	平成21年度(第20回)	940万円
平成 9年度(第8回)	910万円	平成22年度(第21回)	940万円
平成10年度(第9回)	940万円	平成23年度(第22回)	940万円
平成11年度(第10回)	940万円	平成24年度(第23回)	940万円
平成12年度(第11回)	940万円	平成25年度(第24回)	940万円
平成13年度(第12回)	940万円	平成26年度(第25回)	940万円
平成14年度(第13回)	940万円	平成27年度(第26回)	940万円

3. 助成金等贈呈式

日 時 平成27年10月7日(水) 午前11時より

会 場 ヒルトン名古屋 5階 「金扇の間」

以 上

平成27年度(第26回)助成金等交付先

公益財団法人 愛銀教育文化財団

1 一般助成(18件)

(1)個人(8件)

(敬称略)

No	ジャンル	氏名	住所	活動名称・内容等
1	音楽	野村 和代	一宮市大和町	子どもから大人まで幅広く楽しんで頂ける新しいクラシックコンサートの開催。地域の音楽文化向上に貢献する。
2	音楽	石原 純子	名古屋市瑞穂区	JAZZというジャンルの音楽を、より身近に感じ、親しんでもらおうと、プラネタリウムの幻想的な星空の下で生のJAZZ演奏を楽しんでいただく。
3	演劇	石黒 秀和	岡崎市桑原町	演劇による地域文化の活性化を目指す。脚本家、倉本聰氏の私塾・富良野塾で演劇を学んだ後、地元・豊田市を拠点に20年以上、演劇を中心とした文化活動に従事。
4	演劇	コヤマ アキヒロ	名古屋市守山区	舞台を中心に俳優として活動を続けている。劇団ジャブジャブサーキットでは舞台美術も担当している。
5	美術	大塚 泰子	名古屋市千種区	空間における「色」という現象の考察。日々の作品制作を、個展やグループ展等で発表。自己の省察と他者の反応を作品に反映させる。
6	郷土史研究	筒井 正	清須市清須	愛知の北米移民研究。海部・津島地域を中心としてフィールドワークを行い、北米のカリフォルニア州サラメントやウオーナツグロブなどを10回訪問。北米愛知県人会の協力も得ながら調査を行ってきた。
7	郷土史研究	田中 康弘	豊川市豊川町	田中麦南の俳諧日記「久多羅」を解読し、考察を加え、活字化する。東三河の田原、吉田、国府西方牛久保の俳人の句が多く記載されている。
8	その他	語人 サヤ佳 小林 佐柳伽	豊田市深田町	語り活動。現在、社会福祉施設の生活支援の場に通い、「さをり織」に挑戦し、秋の公演に向け頑張っている。また新美南吉作品と共に歩んでいる。

(2)団体(10件)

No	ジャンル	団体名	住所	活動名称・内容等
1	教育	国立 豊田工業高等専門学校 校長 高井 吉明	豊田市栄生町	地域の一般市民や小中学生を対象として科学教育・啓蒙講座を開設し、地域への教育的貢献と活性化を行う。
2	教育	みどり子育て応援団 代表 安田 素子	名古屋市緑区	親支援教育～親になっても学びたい・知りたい・聞きたい～親支援プログラムは、行政でも実施されているが、すべての親が親になった時に学べる機会が欲しいと考える。
3	教育	豊橋外国人児童生徒教育研究会 太田 晴雄	豊橋市下地町	外国人の子どもの教育支援及び支援ネットワーク作り。
4	音楽	春日井不二太鼓 会主 山川 定保	春日井市不二カ丘	創作太鼓。平成3年2人のおじさんの想いで手作り太鼓制作、そして不二カ丘区のみなさんの協力のもとスタート。私的団体で子どもたちと共に前進、24年間、現在に至る。
5	音楽	エマプロジェクト 代表 児玉 裕美	知多郡東浦町	重度障害児(者)や知的障害児(者)などの福祉施設を中心に、教育施設や世界各地でも活躍するピアニスト、福田直樹さんのピアノによるクラシック音楽の訪問演奏を届けている。
6	演劇	総合劇団俳優館 代表 森 剣	名古屋市中区	愛知県を拠点に地元の俳優による劇団として精力的に演劇活動を展開している。また、地域で活躍する俳優・演劇人を育てるため付属の俳優養成所を設置し俳優の養成をおこなっている。
7	伝統芸能	荻野桜校顕彰会 代表理事・会長 奥村 和俊	名古屋市中区	名古屋に伝わる平曲(平家琵琶)の保存と普及。荻野桜校顕彰会は平成14年11月の設立から平曲鑑賞会を行い、昨年末までに21回を数え、平成27年は6月20日に「第22回平曲鑑賞会」を企画した。
8	美術	長者町アートアニュアル実行委員会 会長 佐藤 敦	名古屋市中区	あいちトリエンナーレ2010の作品の山車が、長者町会場に残された事を機に、地域の曳き手による地元主導の維持、保存、活用、展示をしている。
9	郷土史研究	八事、秋中歴史研究会 研究会代表 横井 敏治	名古屋市昭和区	地域の歴史遺産、遺構の調査、研究。八事、秋中を中心とした寺院、滝川コミセン、昭和区生涯学習センター等呼びかけ活動、報告、地元商店街とも連携し、6月には「飯田街道・八事をさぐる」の本を出版。
10	その他	ため池の自然研究会 代表者 八田 耕吉	愛西市西保町	名古屋市及びその周辺地域7市町のため池の自然に関する調査・研究活動を行うと共に、ため池に関する知識の普及と保護のために、地域でシンポジウムの開催、講演活動、観察会の開催、環境教育活動を行い、地域のため池の保全に貢献している。

2 高校生の文化及び体育活動への援助(7件)

No	連盟	団体名	住所	活動名称・内容等
1	文化連盟	愛知県高等学校文化連盟 歌舞伎鑑賞会 会長 笹尾 幸夫	名古屋市東区出来町三丁目6番地15	高校生の歌舞伎鑑賞。その際歌舞伎入門教室を同時に開催し、専門家により歌舞伎をわかりやすく解説し、歌舞伎の基本を学ぶ。平成2年より始めた事業で鑑賞会の料金の一部は生徒負担。今年度も御園座改修のため日本特殊陶業市民会館において歌舞伎を鑑賞する。
2	文化連盟	愛知県高等学校文化連盟 狂言鑑賞教室 会長 笹尾 幸夫	名古屋市東区出来町三丁目6番地15	高校生の狂言鑑賞教室で、その際狂言鑑賞教室も同時に開催し、専門家により高校生に狂言をわかりやすく解説する。平成24年度より始めた事業で、名古屋能楽堂を借り、狂言2番を鑑賞する。
3	文化連盟	安城学園高等学校 吹奏楽部 校長 坂田 成夫	安城市小堤町4-25	定期演奏会、年2回実施。吹奏楽コンクール、マーチングコンテスト等に参加。主な活動実績は平成25年度は第68回東海吹奏楽コンクール銀賞、第26回全日本マーチングコンテスト全国大会金賞受賞。平成26年度は第62回全日本吹奏楽コンクール全国大会銀賞、第27回全日本マーチングコンテスト全国大会銀賞受賞。
4	文化連盟	愛知県立愛知商業高等学校 バトン部 校長 伊藤 泰臣	名古屋市東区徳川一丁目12番1号	毎年12月に行われる(バントワーリング)全国大会(団体)に出場し、悲願である「金賞」を獲得する事を最大の目的とし、平日は授業後2-3時間、土曜日曜も練習にはげんでいる。日常の練習では、バトン操作術の向上、体幹トレーニングによる身体強化等に取り組んでいる。平成25年度第41回、26年度第42回のバントワーリング全国大会ではいずれも銀賞を受賞。
5	体育連盟	名古屋市立名古屋商業高等学校 女子ホッケー部 校長 櫻井 雅子	名古屋市千種区自由ヶ丘二丁目11番48号	全国総体ベスト8を目指し、努力をし活動継続。第69回愛知県高等学校総合体育大会ホッケー競技優勝。第26回全国高等学校総体出場(15年ぶり)。第61回東海高等学校体育大会準優勝等々成果をあげている。
6	体育連盟	愛知県立豊橋南高等学校 陸上競技部 校長 藤原 照明	豊橋市南大清水町元町450	陸上部は部員60人を超え、各ブロックに大変有望な生徒も数多くいる。それに対応する施設・用具が不足している状況。主な成果は平成26年度東海高校総体東三河予選会・東海高校新人東三河予選会女子総合優勝、日本ジュニア陸上競技大会に女子選手が100Mハードルに出場。平成27年度は東海高校総体東三河予選会女子総合優勝などがある。
7	体育連盟	愛知県立鶴城丘高等学校 少林寺拳法部 校長 梶野 淳嗣	西尾市亀沢町300	ボディープロテクターやフェイスガードを着用し行うが、高価であるため数が少ない。また、損傷も激しいが修理もできない状況。主な成績は、女子団体1位(2014年総体)規定組演武1位、2位、3位。自由組演武2位、3位、女子団体1位、弁論1位(2014年新人)等々である。